

やまぐち自然共生ニュース

No. 7

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動や自然とのふれあい活動などを行っているグループや個人のネットワークです。

私たちは自然環境との共生によって、すばらしい自然環境を次世代に伝えていきます。

錦川流域 宇佐川の日本一美味しいアユ

今年も鮎のシーズンとなってきた。山口県第一の大河、錦川の最大支流、宇佐川は、日本一美味しいという鮎が棲息する正真正銘の清流である。源流付近の寂地峡は、「全国名水百選」のひとつである。また五龍の滝は「日本の滝百選」のひとつである。透き通る水は、河川環境基準「AA型」の指定を受ける宇佐川である。そんな清流に棲む鮎だからこそ、日本一美味しいと言われる。毎年、全国の鮎釣り師たちが高知県の四万十川に全国の鮎を持ち寄り「清流めぐり利き鮎会」を開催しているが、宇佐川の鮎は、平成 17 年にグランプリ、翌 18 年には準グランプリを獲得している。



その宇佐川を 20 年以上前から守っているのが「宇佐川を守る会」。最近では、錦川清流委員会や、錦ライオンズクラブなども定期的に河川清掃を行っている。また、錦川流塾は、地元の人たちが東京大学名誉教授の月尾嘉男塾長をお呼びして、環境保全の講演会を毎年開催している。そんな、川を愛する地元の人たちがいるからこそ、こうして日本一美味しいと言われる鮎が棲みつくのである。



河口から 40 km 溯った、錦町の出合地区で、錦川は二つに別れ、左が本流の錦川、右が宇佐川である。鮎は綺麗な水の方に登るため、宇佐川に大半が登っていたが、最近では、本流の錦川の方にも半分近くは登っているようだ。出合地区から 3 km 入った所に、広瀬地区があるが、下水道が完備され、生活排水が川に流れないようになり、水質が随分とよくなったからだと言われている。

また、特別天然記念物の「オオサンショウウオ」も県内では宇佐川にしか棲息していないという。先日も、鱒を捕るかごに「オオサンショウウオ」が 3 匹入っていたという。すぐに離してやったそうであるが、大きいのは、70 cm 以上あったという。昨年も河川工事中の岩の下に 70 cm 級がいた。その「オオサンショウウオ」を保護し、人との共存する豊かな自然を象徴する場所を後世に残し伝えようと、保護の会を立ち上げる運動も起きている。すばらしいことだと思います。



錦川流域ネット交流会 代表世話人 白井啓二

平成 21 年度通常総会の概要

5月30日(土) 山口県セミナーパークにおいて、平成 21 年度の通常総会及び交流行事が開催され、県内各地から 57 名の出席がありました。

総会に先立ち、庫本会長、来賓の吉崎山口県環境生活部長のあいさつがあり、続いて、永年にわたり自然環境保全実践活動に努めて来られた、周南市鹿野の伊藤芳高さん、美祢市秋芳町の奥田定夫さんの功績を讃え表彰式が行われました。(お二人の功績については総会資料に添付してあるとおりです。)お二人には表彰状の他にこれから記念樹が贈呈されます。(記念樹は植樹の適期に贈呈予定です。)



総会に提出された 5 議案は、議長に選出された岡理事の進行により審議され、いずれも満場一致で承認されました。

総会終了後は、参加者全員による自己紹介が行われました。意見交換をする時間がなかったのが残念ですが、日頃感じていることやそれぞれの地域で実践している活動など、様々な意見を聞くことができ、大変有意義でした。今後も自然観察会や会報誌、ホームページなどを通じて情報交換や連携がさらに進むことを願っています。

なお、午後からは交流事業として陶ヶ岳登山と自然ふれあいゾーン散策が行われ、参加者のみなさんはそれぞれの自然を満喫していました。



〔予告〕リレーミーティング in 周防大島

山口県の豊で美しい自然環境を将来の世代に継承していくために、山・川・海をつなぎ、毎年、県下をリレーしてミーティングを開催しています。第 6 回目となる今年は周防大島で次のとおり開催する予定です。たくさんの方の参加をお待ちしています。

日にち 平成 21 年 11 月 7 日(土) ~ 8 日(日) 1泊2日 日帰り可

宿泊地 橘ウインドパーク(パラグライダーの練習場があります。)

内 容 瀬戸内海国立公園内に位置する自然豊かな周防大島を満喫していただくため、実行委員会では次のようなメニューを検討中です。

海を堪能 地引き網体験と瀬戸内海の生きもの観察
(獲れた魚は夜の交流会で食べます。)

山を堪能 高山登山と自然観察
(高山は標高 619m の山で山頂からの眺望がすばらしく、パラグライダーの発進台があります。)

その他 宮本常一(民俗学者、周防大島出身)の足跡、岩風呂体験



会員団体の紹介

山口樹木医会（所在地：萩市、活動場所：山口県内全域）

樹木医制度は、みどりの文化財とも言うべき巨樹・古木などの貴重木を守る専門技術者の養成を目的に、平成3年に林野庁の国庫補助事業として創設され、今に至っています。平成20年度まで全国で1,600人以上、山口県では22名の樹木医が活躍しています。

山口県樹木医会は平成10年に会員9名でスタートしました。当初は手探りの状態でしたが、会員相互の研修会や学習会を通し、会員相互の研鑽を重ねてまいりました。

平成19年には日本樹木医会萩総会を開催することとなり、会員総ぐるみで取り組んだ結果、全国の参加者400名より山口県方式での取り組みに高い評価をいただきました。

同時に大会成功への結束力を生かし、任意団体の当会から社会的責任ある団体としての非営利団体法人（NPO法人）として新たに発足することができました。

その後、これまで創世記の当会をリードいただいた塩川会長が、また今後が期待された河村樹木医が相次いで逝去されたことに伴って、会員による樹木医育成気運が盛り上がり、昨年より「樹木医受験講座」を開設しています。この講座では、会員自らが受験カリキュラムの講師となって21の講座を開設しており、昨年の受講者からの2名を含め、3名の樹木医合格者を出すこととなりました。

これにより、これまで県東部において樹木医が手薄な状況が続いていましたが、ほぼ県下全域を網羅できることとなったのです。

今年5月、萩市の県道整備に伴い、全国でも例のない樹齢300年のイヌマキの移植が山口県によって行なわれました。この移植事業を樹木医会がプロジェクトチームを結成してサポートした結果、無事成功を見ることができました。

こうしたことも含め、今後広く県民に受け入れられる樹木医会として、樹木観察会や樹木医講座などを開催してまいります。



山口県樹木医会 事務局長 草野隆司

移植を伝える新聞記事（平成21年5月17日 山口新聞）

萩市平安古町の新堀川そばに立つイヌマキの大木が道路整備のため引っ越しすることになり、16日に移植作業が行われた。このイヌマキは高さ12メートル、幹周2.8メートルで、樹齢は推定約300年。場所は江戸時代の萩の古地図（安政年間）によると「清末用屋敷」と明示されていることから、下関地域の領主だった毛利清末藩の藩屋敷にあった庭木とみられている。

移植は県道「今魚店金谷線」の建設工事に伴うもので、イヌマキが道路中央に位置することから、約30メートル離れた北側の緑地に移されることになった。作業は大型クレーン3台を使い、約30メートルの距離を少しずつ、ゆっくりと移動。約4時間かかって無事に、新しい場所に根をおろした。今後、このイヌマキを中心にした広場「大イヌマキのある散歩道」が整備される。

県樹木医会によると、このイヌマキは県内でも稀な巨木で「これまでに例のない移植作業だった」という。

情報コーナー

山口県自然環境保全審議会委員の募集について

県自然保護課では、幅広い県民の皆様の御意見を審議に反映させ、「県民が主役となる県政」の推進を図るため、山口県自然環境保全審議会の委員を次のとおり募集しています。

(1) 審議する内容

鳥獣保護区特別保護地区の指定、自然公園内の施設整備事業の決定など、自然環境の保全に関する重要事項についての審議や調査。

(2) 募集定員、応募要件及び任期

募集定員：2名

応募要件：年齢20歳以上で、県内在住の方。

ただし、国・地方公共団体の議員及び職員は除く。

任期：平成21年9月1日から平成23年8月31日まで（2年間）

(3) 募集期間及び応募方法

募集期間：平成21年7月31日（金）まで〔郵送の場合は当日消印有効〕

応募方法：専用の応募申込書に必要事項を記入の上、「自然と人との共生について」をテーマとした御意見・御提言（800字程度、様式自由）を添えて、持参、郵送、ファックス又はEメールによりお申し込みください。

応募申込書については、農林事務所、県民局、自然保護課ホームページ等で入手することができます。

(4) その他

応募された方の中から選考し、その結果は御本人にお知らせします。

提出していただいた個人情報は、委員の選考以外の目的には使用しません。

オオキンケイギクの除去について

オオキンケイギクは、以前から観賞用や緑化用として広く栽培されてきたところですが、在来種を駆逐して生態系に影響を与えることから、平成18年2月に外来生物法による特定外来生物に指定され、栽培が禁止されています。

しかしながら、昨年度実施された民間団体の調査では、道路敷きや河川敷など広い範囲で生育が確認されており、生物の多様性や地域の生態系への影響が懸念されているところです。

つきましては、ご自分で管理されている土地にオオキンケイギクがあれば、除去していただきますようお願いいたします。



（連絡先）〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県環境生活部自然保護課
電話：083-933-3060 FAX：083-933-3069
URL：<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15600/index/>
Eメール：a15600@pref.yamaguchi.lg.jp

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。

活動報告、活動予定等がありましたら、下記までご連絡ください。

〔事務局〕〒753-0811 山口市吉敷上東二丁目4番5-201 田中 浩（090-7971-6843）

〔広報担当〕〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県自然保護課 内田 修（083-933-3060）

E-mail h-tanaka43@nifty.com URL <http://www.gotjp.com/yama-kyou/>